



2026年 1月合同運営推進会

グループホーム暖談 報告書

(株)ピュアライフ島根
グループホーム暖談

R7年度 合同運営推進会議 グループホーム暖談

施設名： グループホーム暖談
 施設種類： グループホーム・小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）
 日時： 令和8年1月30日（金曜日） 10:00
 開催方法： 会議
 送付人数：

利用者ご家族様	18人	高齢者安心支援センター職員	1人
地域住民代表	3人	市役所	1人

参加人数：

利用者ご家族様	0人	高齢者安心支援センター職員	0人
大社広域交番	0人	市役所	1人

参加職員：速水 有紀恵
 書記：白築 直也(縁)

1. 利用状況

女性	17名	男性	2名	合計	18名
平均介護度	2.6	平均介護度	3	平均介護度	3
平均年齢	88歳	平均年齢	88.5	平均年齢	88.2歳

*見学対応行っております。

2. 行事報告・予定

- 12月 3日 認知症勉強会
- 12月 4日 すぎうら医院往診
- 12月 9日 中島医院往診 いなさ園訪問看護
- 12月10日 (笑)入所
- 12月16日 (笑)深田医院 認定調査
- 12月18日 すぎうら医院往診 安全対策委員会
- 12月19日 職員会
- 12月23日 中島医院往診 いなさ園訪問看護
- 12月24日 クリスマス会 (友)新規入所
- 12月26日 管理者会 給食委員会 (友)深田医院往診

- 1月 4日 すぎうら医院往診
- 1月 6日 中島医院往診 いなさ園訪問看護
- 1月 7日 施設見学
- 1月13日 いなさ園訪問看護
- 1月15日 職員会
- 1月16日 市民病院実調
- 1月19日 役員会

- 1月21日 すぎうら医院往診 感染対策委員会
- 1月27日 深田医院往診 中島医院往診 市役所訪問調査
- 1月28日 管理者会、給食委員会
- 1月30日 深田医院往診 運営推進会

3、ヒヤリハット報告

なし

4、事故報告

居室内で転倒あり。クッションマットの上だったので外傷なく痛みの訴えもなかった。家族様へ連絡済。

5、苦情報告

なし

その他

- 12/03 勉強会
ピュアライフ島根職員での認知症勉強会を行った
- 12/19 GH 暖談職員会
現在の入居者対応について変更事案、行事等について話し合いを行った
- 12/18 安全対策委員会
3ヶ月に1度の開催。事故報告、ヒヤリハット案件についての報告、防止対策について話あった。
- 12/24 クリスマス会
皆さん、其々にケーキの飾りつけをされ賑やかに過ごされた
- 12/26 管理者会
各事業所の状況報告を行った
- 12/26 給食委員会
行事メニューの検討について話し合った
- 01/15 職員会
カンファレンスを行い今後の見取り体制について話し合った
- 01/21 感染対策委員会
研修資料を基にインフルエンザ予防感染対策について勉強会を行った。
- 01/27 訪問調査
訪問調査員2名が来園され利用者様と施設生活について話をされた。
- 01/28 管理者会
4/1以降の人事異動について話し合った
- 01/28 給食委員会
物価高騰対策について話し合った

6、質疑応答

質：湯たんぼでの低温火傷発生の事故報告書がありますが、事故後の対応はどのようにされましたか？

答：事故の詳細として、ご利用者様が休まれる際は湯たんぼを使用しておりました。使用時には湯野^の温度調整を行う事、足から離し設置することを義務付けておりますが入眠中の体動等で湯たんぼが足底に長時間当たっていたことが原因でした。事故後、湯たんぼの使用は中止しエアコンでの温度調整、居室の加湿を行っております。

質：インフルエンザ感染があつ^たようですが感染経路、対応方法はどのようにされていきましたか？

答：DS 暖談、GH 縁での感染がありました。DS は3日間の営業を休止しました。市内でのインフルエンザ感染が蔓延している状況がある事は把握しており持ち込まないように心掛けておりました。今回の感染では、みなし感染を含め入居者様全員に症状がみられ、3～6日間の居室対応を行いました。今回の感染を踏まえ感染防止について再度、勉強会を行いました。

質：施設での見取りを行っておられますが大変ではないですか？

答：最期を看取る事は、職員も精神的に大変である事は間違いありません。ただ、長い期間、一緒に生活をし慣れ親しんだ場所を離れ、病院の一室で寂しい最期を迎えて頂きたくないとの思いで、カンファレンスを行い、その方の最期をどのように過ごして頂きたいかを何度も話し合います。ご家族様との面談も何度も行き、気持ちに寄り添い本人様ご家族様が最期を穏やかに優しい気持ちで迎えることができるよう努めております。病院で余命宣告され施設に戻られるケースも少なくありませんが、最期まで声を掛け、笑顔で寄り添いご家族様の要望には可能な限り努めたいと思っております。また、職員其々が本人様に対し悔いを残さない支援を行っていけるよう日々勉強会を行っております。

以上が報告となります。